

A:

はじめに～日本を取り巻く 輸入感染症

KEEP OUT!



くつな 忽那: 上村よ、名著『症例から学ぶ 輸入感染症 A to Z』が出版されて4年が経とうとしているな。



レジデント上村: そうッスね。あれ、さっぱり売れなかったッスね。



売れ行きのこと言うなッ（泣）！ しかし、出版社があまり刷ってくれなかったせいでもはや絶版化しており、一部のマニアの間では高値で取引されているという……。



そんな話、聞いたことないッス。



だが上村よ……4年というのは長いよな。思えばこの4年の間にいろいろなことがあっただろう……。



はい……例えば佐村河内守さんのゴーストライター問題とかありましたね。



どうでもいいことを思い出させるなッ！ そうじゃない、輸入感染症関係の話題だッ！ 例えば外国人観光客がこの4年間にどれくらい増えたか知っているか。

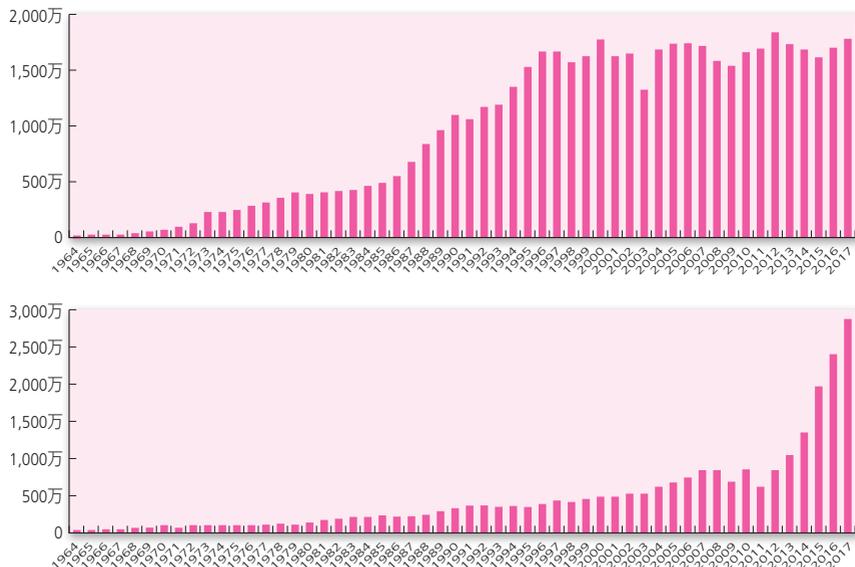


え……えーと、4億人くらいですか？



多すぎだッ！ 普通は空気を読んで少なめの数を言うんだよッ！ 第1版が出た2015年には約2000万人だった外国人観光客が、2018年は約3000万人と1.5倍に増えてるのだッ！

図A-1 日本からの出国者数（上）および海外からの外国人観光客の推移（下）



出所：法務省「出国管理統計」よりJTB総合研究所作成

（法務省出国管理統計および日本政府観光局発表資料より）



ほ～ん。確かに最近中国人旅行者とかよく見かけますよね。爆買いとか流行りましたしね。



図A-1のように、日本から海外に行く人は毎年1600万人前後で安定しているが、海外から日本に来る観光客は急激に増加傾向なのだっ！



……だから輸入感染症が増えるって？ つまり「オレの時代が来る」って言いたいわけですか？



いや、オレの時代ってわけじゃないけど……増えるか増えないかで言ったら増えるだろ。実際にデング熱の報告数なんか経時的に増えてるしな。



うーん、なんか短絡的なんだよな～。



ムカツ！ それだけじゃないぞっ！ 2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開催されるだろう。



そうそう。オープニングは誰が演奏するのか気になりますね。個人的には佐村河内守さんに務めてほしいと思ってます。



いいかげん佐村河内守のことは忘れろッ！ オリンピック開催は確かに興行的には重要だが感染症のリスクがあることも忘れてはならないのだッ！



オリンピックで感染症ですか？



東京都によるとオリンピック期間中の一日の来場者数は最大 92 万人にも上ると言う……これは言い換えればマスギャザリング (mass gathering) なのだッ！



マスギャザリング？ なんですかそれ？



マスギャザリングとは、日本集団災害医学会では「一定期間、限定された地域において、同一目的で集合した多人数の集団」と定義されている。まさにオリパラのためにある言葉だろう。



すいません、「マスギャザリング」って言葉を聞くと、なぜかルー大柴が「トゥギャザーしようぜ！」と言っている光景が脳裏に蘇るんですけど……。



ホントになんでなんだよ。



でも待てよ……マスギャザリングってつまり、ある特定の場所に多くの人がトゥギャザーしちゃうってことですよ？ ルー大柴の言ってることは間違っていないじゃないですか！



なんでそんなにルー大柴の肩を持つんだよ。



でもマスギャザリングの何がまずいんですか？ 一緒にトゥギャザーすればいいじゃないですか。



率直に言うと、感染症が流行するんだよ。例えば世界スカウトジャンボリーってイベントを知ってるか。公式ホームページによると「世界スカウトジャンボリーは、4年に1度開かれる世界スカウト機構主催のスカウトの大会です。世界スカウト機構は、世界で3,000万人が参画する世界最大の青少年運動組織です」とある。



へー。スカウトの大会ってのがよくわかりませんが、何やら楽しそうですね。



その世界スカウトジャンボリーが2015年に日本の山口県で開催されたのだッ！



なんでまたそんな何もなくて……。



何もなくて集まりやすかったようだな。なんとここに世界155の国と地域から約3万4千人の青少年が集まり、約2週間にわたって、キャンプをしながらワイワイ楽しんだらしい。



ちょ！ それめっちゃ甘酸っぱいイベントじゃないですか！ 風紀が乱れているッ！ 許せないッ！



羨ましいだけだろ。



しかも人のいない山口県に3万4千人って……トゥギャザーしすぎでしょ！ 山口県民はパニックになりますよ！ さすがのルー大柴もストップをかけますよ！



おまえは山口県民をどう思ってるんだ。別にパニックになりはしない。参加者はキャンプをするわけだから、県民に大きな影響はない。



若者たちが集まってキャンプか……なんだかいかかわしいことがいっぱいありそうですね。



いかかわしいこともあっただろうが、この世界スカウトジャンボリーでは髄膜炎菌感染症のアウトブレイクが起ってしまったんだよ。



髄膜炎菌？



飛沫感染する危険な感染症だ。この大会に北スコットランドから参加していた3名、スウェーデンから参加していた2名が日本からの帰国途中または帰国後に髄膜炎菌感染症と診断されたのだッ^①！ 日本の、山口県のような人のいない田舎町でも人がたくさんトゥギャザーすれば感染症が流行りする。これがマスギャザリングの怖いところだ。

表A-1 マスギャザリングで流行が懸念される感染症

- ・蚊媒介感染症：デング熱、チクングニア熱、ジカ熱など
- ・髄膜炎菌感染症
- ・麻疹・風疹・おたふく・水痘
- ・インフルエンザ（熱帯・亜熱帯地域からの持ち込み）
- ・感染性腸炎（ノロウイルス、サルモネラ、病原性大腸菌 O157）

（Gautret P, et al. Int J Infect Dis. 2016; 47: 46-52 を参考に作成）²



先生こそ山口県のことを何だと思ってるんですか。山口大学出身のクセに。



ちなみにマスギャザリングで流行しうる感染症は髄膜炎菌感染症だけではない。これまでにマスギャザリングと関連して流行した感染症，流行が懸念される感染症としては **表A-1** のようなものが挙げられる。



ほーん。で，マスギャザリングが起こるから輸入感染症を知っておくのが重要だと。プラマニユよりも重要だと。



いや，決してそこまでは……。



でもまあ確かに 2014 年のとき³みたいに国内でデング熱が流行ったりしたら困りますもんね。



そう，その通りだッ（キラーン）！ 我々は 2020 年に向けて輸入感染症についての知識を今一度再確認する必要があるのではないだろうか！



うーん，まあそうかもしれませんね。



よしッ！ ではさっそく症例から学んでいこうではないかッ！

**参考文献**

- 1 Kanai M, Kamiya H, Smith-Palmer A, et al. Meningococcal disease outbreak related to the World Scout Jamboree in Japan, 2015. Western Pac Surveill Response J. 2017; 8: 25-30.
- 2 Gautret P, Steffen R. Communicable diseases as health risks at mass gatherings other than Hajj: what is the evidence? Int J Infect Dis. 2016; 47: 46-52.
- 3 Kutsuna S, Kato Y, Moi ML, et al. Autochthonous dengue fever, Tokyo, Japan, 2014. Emerg Infect Dis. 2015; 21: 517-20.